

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ゴービーPLUS		
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年10月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、看護師、リハビリ(理学療法士、作業療法士)など、多職種で支援している	月に一度のスタッフ会議や、個別支援計画の立案時にご利用者様一人一人について専門的な目線で様々な問題点やより良い支援に繋げられる様に話し合いを重ねて計画の立案をしたり、介助者同士も同じ方向、同じ目標に向かって行くことが出来る様に情報共有を重ねています。	引き続き、スタッフ間での話し合いや、子ども達の「その子らしさ」を追求できるように、また楽しくデイサービスで過ごしてもらえよう努めます。
2	・災害訓練の定期的な実施	毎年年間計画として、月に1回地震、火災、不審者対応等の災害訓練を施設内で実施しています。また年に1度保護者様もご参加いただき防災センターでの研修に参加し保護者様と一緒に防災について考える機会を設けています。災害時の緊急連絡としては「災害伝言ダイヤル」を活用できるように保護者様にもお願いし訓練に参加してもらっています。	今後も災害訓練を継続的に実施していきたいと考えています。
3	・保護者様との情報共有を行い、特性に応じた支援を行うことができる	連絡ノートに保護者様からお子さまの様子をご記入いただき、デイでの様子をノートに記録しご返却しています。また、送迎時に少しの時間ではありますが、デイでの様子をお伝えしたり、ご自宅での様子を伺っています。	保護者様とお子様の様子を情報共有しながら、お子様にあった支援を行えるように努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の放課後クラブや児童館との交流、地域のほかの子どもとの交流が少ない	地域の放課後クラブとの交流はできていません。近隣のイベントや地域のお祭りなど、参加できるものに関しては積極的に参加を行っていますが、平日等学校がある日はイベントへの参加が難しく、ご利用曜日によっては参加ができていない利用者様もいます。地域のお子様との関りとしては、近くの体験型の施設や地域のスーパーなどにお買い物に行ったりしています。	利用者様毎にイベントへの参加の有無を把握していますので、長期休暇等は参加出来ない利用者様を中心に参加出来る様に調整していきます。また、催しに参加出来なくても、地域の公園・公共施設等での触れ合う機会は積極的に作っていきます。
2	・父母会や保護者会等はありません。またコロナ以降ご兄弟様が参加できるようなイベントは実施できていません。	保護者様が交流できるように年度末に茶話会を実施したり、一年間の活動を動画にしたものを事業所に見に来ていただく機会を設けています。体験型の防災訓練も計画しご両親に参加して頂くよう声をかけさせて頂いております。ご兄弟様が参加できるようなイベントができていません。	コロナなどの感染症の蔓延の観点から、父母会や保護者会は実施出来ていませんが、今後は保護者様のニーズもふまえ、時期を検討し、企画していきたいと考えています。また、ご兄弟関しても気軽に参加できる機会を設けていきます。
3	・保護者様に周知して頂く、各マニュアルの整備	定期的なマニュアルの見直しと整理が出来ていないことが要因で、それに伴って、保護者様へお渡ししている書類等の見直し、定期的な整理が出来ていません。	各マニュアルに関しては、係・委員会で改善点を検討。保護者様へは、随時、手渡しているマニュアルの見直しを実施していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス ゴービーPLUS

公表日 2025年10月9日

利用児童数 2025年10月9日 20名

回収数 20名

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				・活動できるスペースを広くとっており、開放的である	活動に応じて子どもたちが活動に取り組みやすい様に配置変更しながらスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	94.44%			5.55%	・利用者一人一人に介助がついている	人員配置に基づき配置しています
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				・とても明るく、居心地のいい場所である 保護者もとても心地よくなれる空間である	清潔に保つとともに、子ども達が出られるだけ広い空間で過ごせるようにしています
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				・個々の能力に応じた支援をしてきている そのため、子どももとても満足している	保護者様と情報を共有しながら、一人一人の特性を理解し支援にあたる様に今後も努力します
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					支援プログラムに沿ってご利用者様が楽しく過ごせるように支援します
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					保護者様に日頃のデイでのお子様の様子をお伝えし、またご自宅等でのお子様の様子を教えていただきながら計画作成を行っています
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94.40%			5.55%		項目に分けて、計画設定を行っております。「わからない」のご意見を頂いておりますので、今後は計画書をお渡しの際に詳しく説明ができる様努めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					放課後等デイサービス計画に沿った支援を引き続き実施してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94.40%			5.55%	・とても工夫されている、びっくりする程よく考えられている	今後も季節の遊びを入れる事で子どもたちが季節を感じ、楽しい時間を過ごせるようなプログラムを考えていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	55.55%	11.11%		33.33%	・他のデイに行き交流している	放課後児童クラブに出向いたりすることは出来ませんが、地域のお祭りや近隣の公園や施設へお出かけを通して地域の子とも遊んで関わりを持てる様にしています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					契約時に重要事項説明書、契約書を用いてご説明させていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				・わかりやすい説明がされる	計画書に関しましてはモニタリング時に保護者様とお話しをさせていただき作成し作成したものにしましてはお控えを保護者様にお渡しさせて頂いております
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88.88%			11.11%		研修会は毎年防災を考える為、保護者様もご参加頂ける様にお知らせさせて頂いております。また、毎年茶話会を実施し保護者様に來ていただける様な会を設けています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	94%	5.55%			・些細な事でLINE等ですぐお知らせしてくれる	利用時には連絡帳にご自宅の様子を記載いただき、また事業所での様子を記載して返却致しております。帰りに送迎時に少しの時間ですが保護者様に様子を聞いたりお伝えさせて頂くようにしています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94.44%	5.55%				半年に一回モニタリングを実施しております。またその都度お電話等で、お子様の様子をお伝えしていただく事もあります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	55.55%	22.22%		22.22%	・就学前の保護者を対象に、就学児の保護者との座談会を設けられたりしている	父母会はありません。年度末に茶話会を実施しており保護者様へのお話しを行っております。コロナ以降御兄弟様を招いての交流は出来ていません。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	88.23%	5.88%		5.88% (非回答1名)		「はい」の意見が100%でない事を真摯に受け止め整備に努めています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				・送迎時や、その日の日誌にとてもわかりやすく、こまめに報告してくれる	利用時には連絡帳にご自宅の様子を記載いただき、また事業所での様子を記載して返却しております。帰り送迎時に少しの間ですが保護者様に様子を聞いたりお伝えさせて頂くようにしております。またLINEの活用も行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%				・SNSや紙でも活動の様子を知らせてくれる ・SNSで保育場面や作品集の発信がされており、いつも楽しみにしている	2カ月に一回のゴビー通信を発行しており、お子様の様子を写真付きでお伝えしています。また、日頃の様子はインスタグラムで発信させて頂いています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					・顔出しNG写真にしている
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	88.23%			11.76% (非回答1名)	・体験できる施設へ行き訓練されている。 その後も報告がされる。	各マニュアルの作成をしております。また毎月様々な想定で訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88.88%			11.12%	・防災訓練のお知らせや災害時伝言ダイヤルの活動など徹底していると思う。 ・消防車が来たりと本格的にしっかり訓練されている。	様々な想定で月に一度訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88.88%			11.12%		年間の安全計画を作成しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				・きちんと詳細等の説明があり、分かりやすい	事故やけが等があった場合にはすぐに保護者様へご連絡をさせていただき対応しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				・帰宅時に、いつも笑顔で帰って来てくれたり、スタッフさんから離れなかつたりと楽しさが伝わってきます ・とても安心してている	今後も安心して通所して頂ける様努力します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				・いつも子どもが通所を楽しみにしています ・とても楽しみにしており利用する事を前日に伝えると興奮して寝れなくなるほど楽しみにしている	今後も子どもたちが楽しいと思える経験が出来る様に支援していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				・送迎時に細やかな事を伝えてもらえるので、デイでの様子等が分かりやすく安心します。 ・大変満足している。このようなデイがあっくて本当にありがたい。こんなデイがもっとたくさん出来て欲しい。	保護者様と情報共有しながら、子ども達が楽しく安心して通所出来る様支援していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ゴービーPLUS				公表日 2025年10月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	71.40%	28.50%	・合理的配慮に基づいて、事業所で出来る事は行っています	・スペース的には十分だと思うが、椅子が大きくなっているので設置できる場所がない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			・職員の人数がもう少し多ければ、よりよい配慮等が出来るのではないかと考えている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	85.70%	14.20%	・職員間で話し合っ、可能な限り個々の障害特性に基づいて配慮しています	・バリアフリーではあるが構造化はされていない。限られた空間である為スペースごとの区切りは分かりやすい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・その日の利用者様に応じて、活動範囲、障害特性を配慮した環境作りを心がけています。	・物品を置く場所が必要なため、もう少しスペースがあるといいと思う	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	71.40%	28.50%	・個別の部屋は少なく、荷物置き場になっているが場面に応じて衝立などでパーソナルスペースの確保が出来ている	・スペースの問題で難しい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎年の評価アンケートを参考に職員間で話し合っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・可能な限り意見は取り入れたいと思っている ・管理者と話しやすい環境だと思う	・可能な限り意見は取り入れたいと思っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	28.50%	71.40%		・外部評価が出来ているか分からない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・学びの意識は常に持って欲しいので研修の発信は心がけている ・今後も研修の機会があれば意欲的に参加したい		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・Instagramで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・日頃より保護者の声は職員間で共有している ・モニタリング報告書、計画書の作成実施		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・会議にて共有・活動にて実施が出来ている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・月1回、支援会議を実施しています。 各職種からも意見を伝えてもらい、計画に活かしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・保育士からの提案でチームで話し合って実施しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・保育士が中心となつての立案ですが、個々の児童に合わせての工夫点などは職員間で話し合っています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・個々の自由時間にて好きな遊びの中で個別活動をしている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%				

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			・一日利用時は必ず実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			・日誌となるが必ず振り返りは行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			・子ども達が選択できる機会、場面を多く作り児が選べることの嬉しさ・楽しさを体験できるように支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			・担当者会議や送迎時を利用している ・送迎表の作成	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	85.7% (非回答1名)			・全員ではないが情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			・担当者会議には必ず参加できるような体制作りをしています。参加の際は、資料としてデイでの様子、課題等をまとめたものを持参しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	57.1% (非回答1名)	28.50%		・実施予定しています。専門職同士の交流が出来ればと考えています。 ・研修や勉強会の参加	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	28.50%	71.40%		・障がいの程度の相違により難しいと思っている ・外出先で時々関わる事がある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	85.70%	14.20%		・協議会主催の研修会などには出来る限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			・ペアレントトレーニングは実施していないが、保護者参加の茶話会等も行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			・契約時には時間を取って実施しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			・送迎時やモニタリングの際の会話より、保護者様のニーズを探り、対応出来る様に努力しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			・電話やLINE等で相談に応じている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	85.70%	14.20%		・茶話会、一年の振り返りムービー鑑賞会を通して行っている ・施設内のイベントに保護者を招待したり、保護者間の交流にも繋げている。卒業後の支援について交流会も実施。夏休み期間は、兄弟も参加してもらう事が出来た	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			・保護者様からは、日常からのお話で心情を察し、直ぐに対応出来る様に、職員間でも常に話し合っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			・インスタグラムなどの運用、発信をしている	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・注意しています。研修会等で写真などを使用する場合は、事前に保護者様と同意書を交わす様にしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・聴覚不利がある保護者様には文字でのやり取りを心がけている ・ツールの作成使用	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	85.70%	14.20%	・ボランティアさんに来ていただき交流を図っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・定期的に実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・医療情報連携用紙を主治医に記入してもらっています。薬等の変更についてはその都度ご家族様から伝えてもらう様にしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・医療連携用紙にて確認し、職員間で周知しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	85.70%	14.20%	・年間の安全計画に基づいて実施しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・記録に残して観覧し、スタッフ全員が振り返りの場を作っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・研修等は実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・同意書に署名を頂き、保管しています。特別な事がある場合は、その都度、頂くようにしています。	